

# 2010年12月期 第2四半期決算説明資料



サイオステクノロジー株式会社  
(東証マザーズ : 3744)  
2010年7月27日



## 2010年12月期 第2四半期 決算概要

## 中期事業戦略と2010年12月期業績予想

# 2010年12月期 第2四半期決算概要

売上高、営業利益、EBITDA共に、ほぼ当初予想通りに着地

売上高 2,493百万円 (前年同期比 12.7%減)

- 
  - 「[LifeKeeper](#)」\*、「[SIOS Integration for Google Apps](#)」\*は、堅調な推移
  - 昨年提供を開始した製品・サービスが徐々に収益に貢献
  - 米国子会社[SteelEye社](#)は、前年同期比プラス
- 
  - 「[Red Hat Enterprise Linux](#)」\*等は、前年同期比マイナス

営業利益  $\Delta$ 68百万円 (前年同期は営業利益43百万円)  
 EBITDA 101百万円 (前年同期比 53.2%減)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

- コスト構造の見直しを継続
- クラウドコンピューティング\*分野への先行投資を実施(人材拡充、マーケティング拡大)
- 「Red Hat Enterprise Linux」の減収影響による利益縮小

※ 「\*」を付した用語につきましては、P20に解説を記載しております。

# 2010年12月期 第2四半期業績(連結)

	09年12月期 1-2Q実績	10年12月期 1-2Q実績	増減	業績予想 (10.2.1 公表)	(百万円) 差異
<b>売上高</b>	<b>2,854</b>	<b>2,493</b>	△ 12.7%	<b>2,500</b>	△ 0.3%
オープンシステム基盤事業	2,475	2,039	△ 17.6%	-	-
Webアプリケーション事業	378	453	+19.8%	-	-
<b>売上総利益</b>	<b>1,111</b>	<b>1,087</b>	△ 2.2%	-	-
<b>販管費</b>	<b>1,068</b>	<b>1,156</b>	+8.2%	-	-
(内 のれん償却)	135	130	△ 3.8%	-	-
<b>営業利益</b>	<b>43</b>	<b>△ 68</b>	-	<b>△ 60</b>	-
<b>経常利益</b>	<b>40</b>	<b>△ 66</b>	-	<b>△ 60</b>	-
<b>当期純利益</b>	<b>△ 19</b>	<b>△ 87</b>	-	<b>△ 90</b>	-
<b>EBITDA</b>	<b>215</b>	<b>101</b>	△ 53.2%	-	-
(連結社員数)	(197名)	(223名)	(+ 26名)		

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

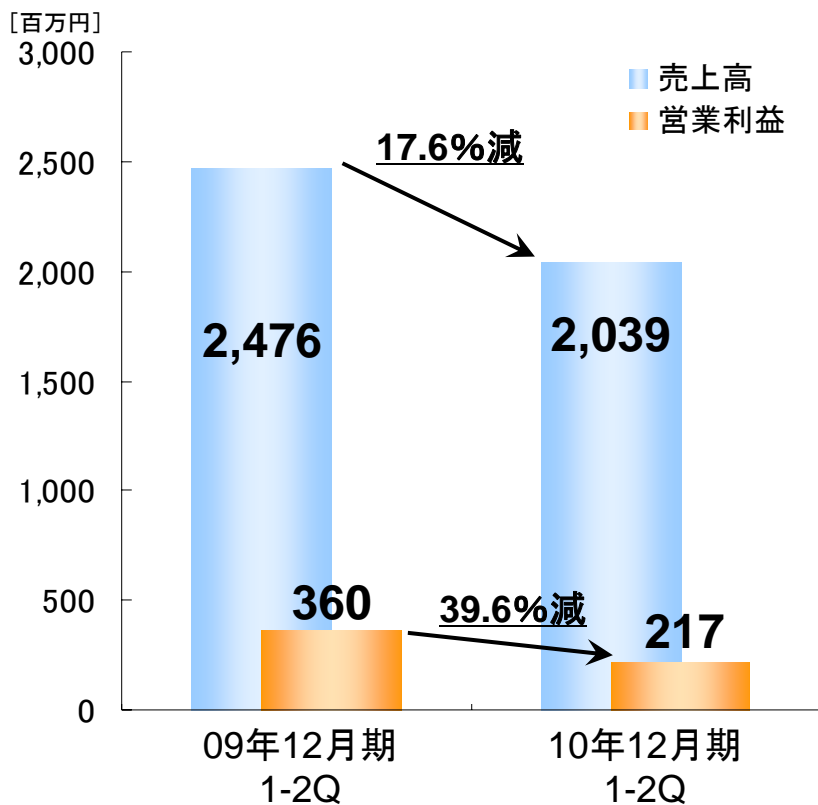
# 2010年12月期 第2四半期業績(個別)

	(百万円)			(百万円)			(千ドル)		
	サイオス単体			SteelEye単体(¥ベース)			SteelEye単体(\$ベース)		
	09年12月期 1-2Q実績	10年12月期 1-2Q実績	増減	09年12月期 1-2Q実績	10年12月期 1-2Q実績	増減	09年12月期 1-2Q実績	10年12月期 1-2Q実績	増減
売上高	<b>2,631</b>	<b>2,335</b>	△11.2%	<b>327</b>	<b>359</b>	+9.9%	<b>3,421</b>	<b>3,933</b>	+15.0%
(システム基盤)	2,288	1,895	△17.2%	327	359	+9.9%	3,421	3,933	+15.0%
(Webアプリ)	343	440	+28.5%	-	-	-	-	-	-
売上総利益	<b>821</b>	<b>765</b>	△6.9%	<b>266</b>	<b>287</b>	+8.2%	<b>2,782</b>	<b>3,152</b>	+13.3%
販管費	<b>661</b>	<b>691</b>	+4.6%	<b>377</b>	<b>446</b>	+18.3%	<b>3,948</b>	<b>4,885</b>	+23.7%
(内 のれん償却)	-	-	-	133	128	△3.9%	1,393	1,402	+0.6%
営業利益	<b>160</b>	<b>73</b>	△54.2%	<b>△111</b>	<b>△158</b>	-	<b>△1,165</b>	<b>△1,733</b>	-
経常利益	<b>158</b>	<b>73</b>	△53.4%	<b>△110</b>	<b>△155</b>	-			
当期純利益	<b>85</b>	<b>38</b>	△55.3%	<b>△96</b>	<b>△136</b>	-			
			換算レート: 1\$ =	95.60円	91.36円				
(社員数)	(144名)	(158名)	(+14名)	(37名)	(45名)	(+8名)			

※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

# オープンシステム基盤事業について

売上高	2,039百万円	(前年同期比17.6%減)
営業利益	217百万円	(同39.6%減)



## 売上高

[国内]

- ・ 重点製品「LifeKeeper」は、堅調な販売を維持
- ・ 「Red Hat Enterprise Linux」は前年同期比マイナス

[米国]

- ・ SteelEyeは、ドルベースでは前年伸長だが、為替影響で、円換算後は前期比マイナス

## 営業利益

[国内]

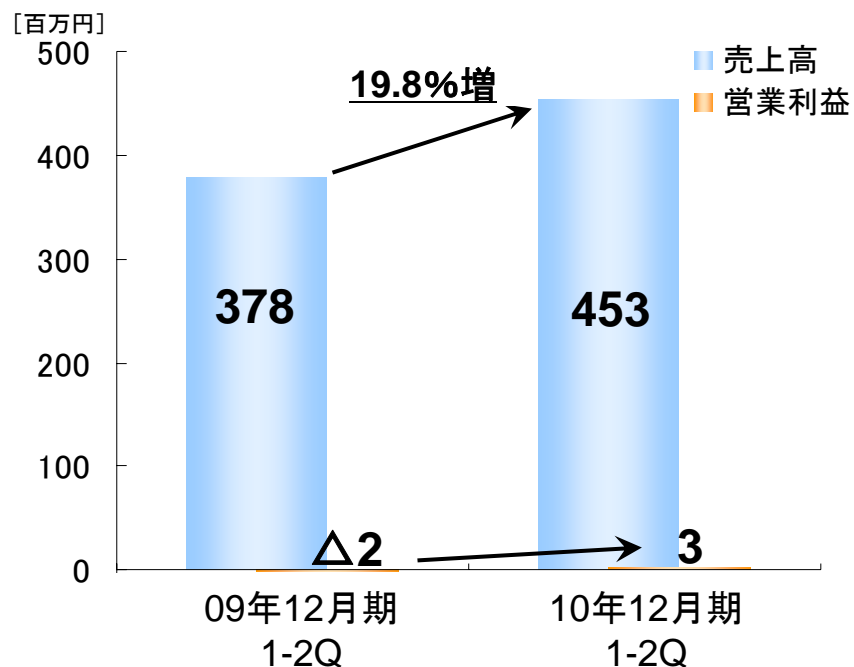
- ・ 「Red Hat Enterprise Linux」の減収影響による利益縮小

[米国]

- ・ 営業人員及びクラウド分野の技術人員確保を実施

# Webアプリケーション事業について

売上高	453百万円	(前年同期比19.8%増)
営業利益	3百万円	(前年同期は△2百万円)



## 売上高

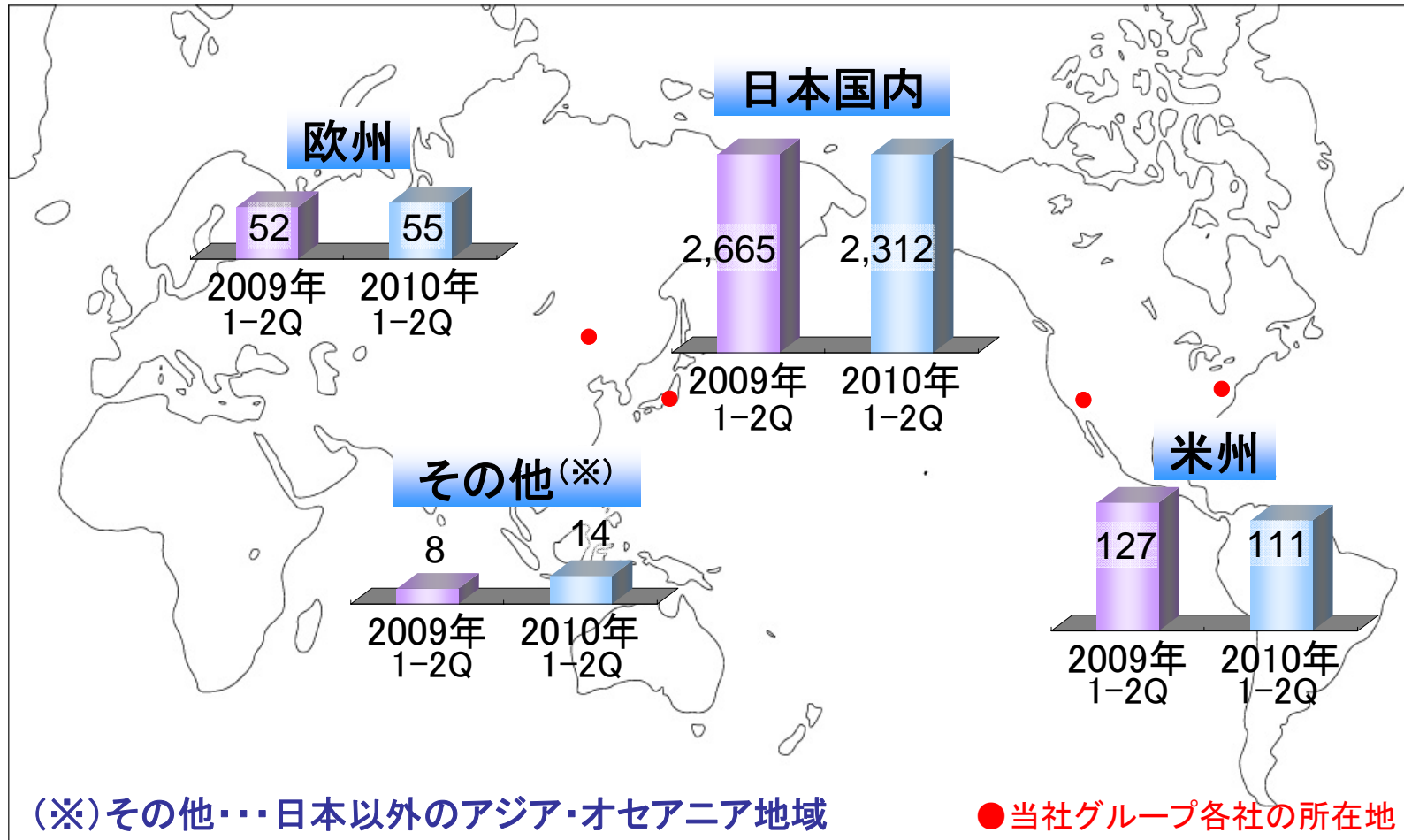
- ・ 重点サービス「SIOS Integration for Google Apps」は、堅調な販売を維持
- ・ Google Apps導入は43万ユーザーを突破 (2010年6月末時点・・・大学/民間含む)
- ・ 昨年提供を開始した製品・サービスが徐々に収益に貢献

## 営業利益

- ・ コスト構造の見直しを進め、クラウド分野への先行投資として、積極的な人材拡充や広報・広告宣伝活動を実施
- ・ 受託開発案件の管理徹底や外部委託費等のコスト削減を継続実施

# 地域別売上高の状況

(単位: 百万円)





# 2010年12月期 第2四半期末 貸借対照表

(単位: 百万円)

	連結		増減	
	09年12月期 期末実績	10年12月期 2Q末実績		
流動資産合計	3,089	2,826	△ 263	売掛金△160、前渡金△131 など
固定資産合計	1,123	949	△ 173	のれん△148 など
(のれん)	663	515	△ 148	
資産合計	4,212	3,775	△ 436	
流動負債合計	1,863	1,676	△ 186	前受金△179など
(1年内返済長期借入金)	250	250	0	
固定負債合計	228	98	△ 129	長借返済△125 など
(長期借入金)	125	0	△ 125	
負債合計	2,092	1,775	△ 316	
純資産合計	2,120	2,000	△ 120	利益剰余金の減少△87 など
負債純資産合計	4,212	3,775	△ 436	

(単位:百万円)

	連結		増減	
	09年12月期 1-2Q実績	10年12月期 1-2Q実績		
営業活動によるキャッシュ・フロー	535	193	△ 342	売上債権減少 +156 前渡金の減少 +131 のれん償却 +130 前受金の減少 △168 法人税等支払 △117 など
投資活動によるキャッシュ・フロー	87	△ 21	△ 108	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 174	△ 137	+36	有形固定資産取得△12など
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△ 23	△ 47	
現金及び現金同等物の増減額	472	10	△ 461	長期借入返済△125 など
現金及び現金同等物の期首残高	1,285	1,474	+189	
現金及び現金同等物の期末残高	1,757	1,484	△ 272	

## 2010年12月期 第2四半期決算概要

### 中期事業戦略と2010年12月期業績予想

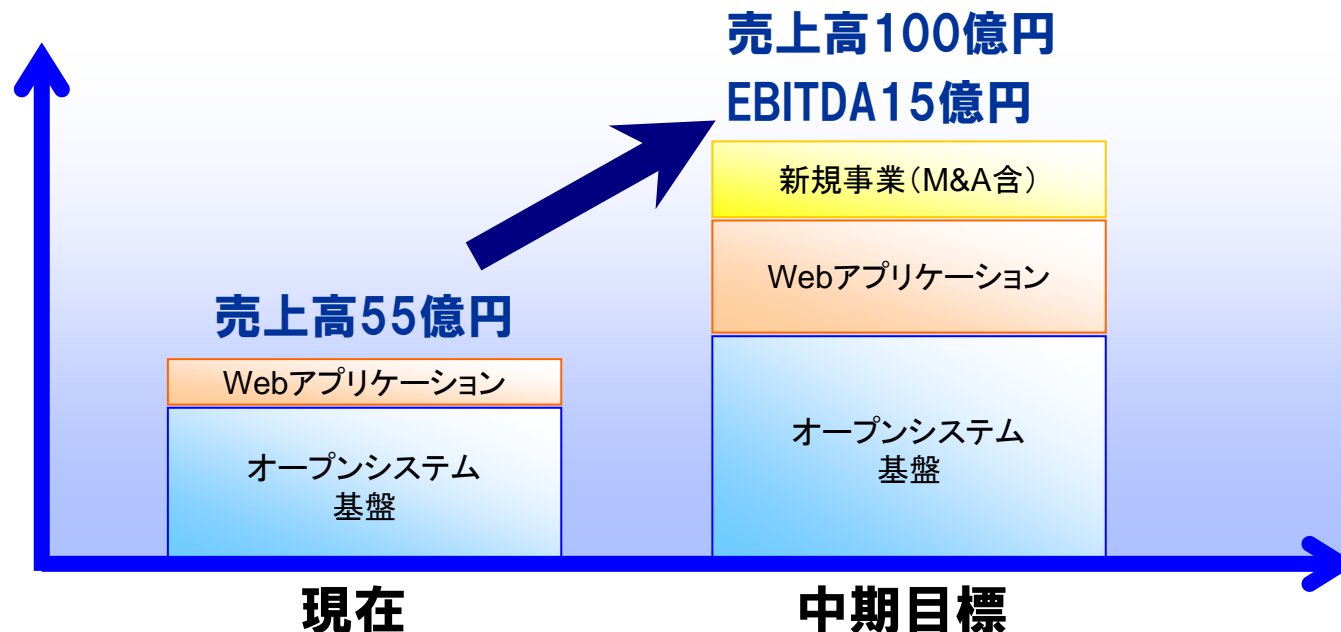
# 中期目標数値について (2010年2月1日公表 決算説明資料より)

当社グループは、中期的に

**売上高100億円、EBITDA15億円**を目指します。

(EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額)

なお、実現目標時期については、世界経済状況や当社を取り巻く事業環境、中期事業戦略の進捗状況に応じて公表します。



# 「クラウド」と「OSS」への注力を更に加速 (2010年2月1日公表 決算説明資料より)

## 中長期的展望

- クラウドコンピューティングへの移行が漸進する
- ソフトウェアビジネスモデルは、サービス中心のビジネスモデルとなる  
(ライセンスビジネスモデルの漸減・・・>OSS \*の台頭)
- ソーシャルメディア\*を中心とした情報流通の構造変化

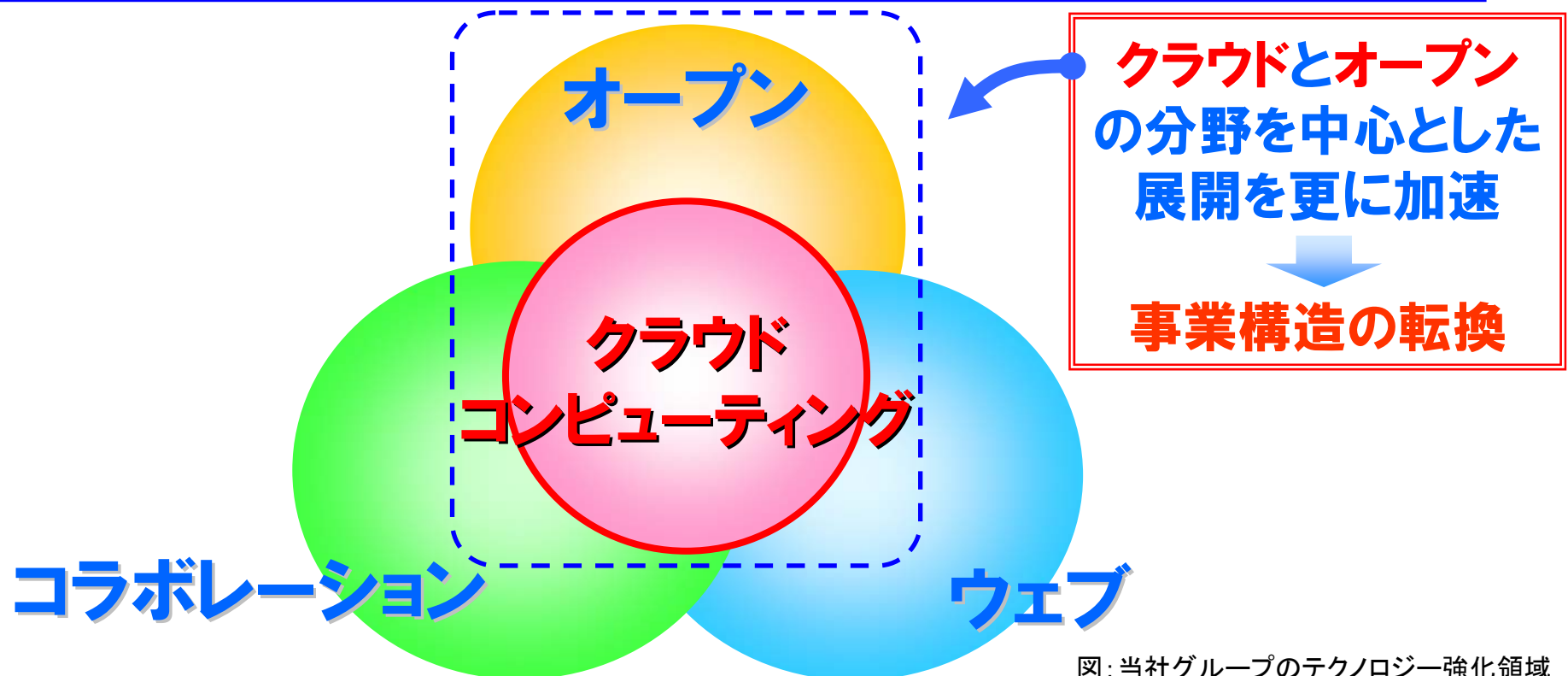


図: 当社グループのテクノロジー強化領域

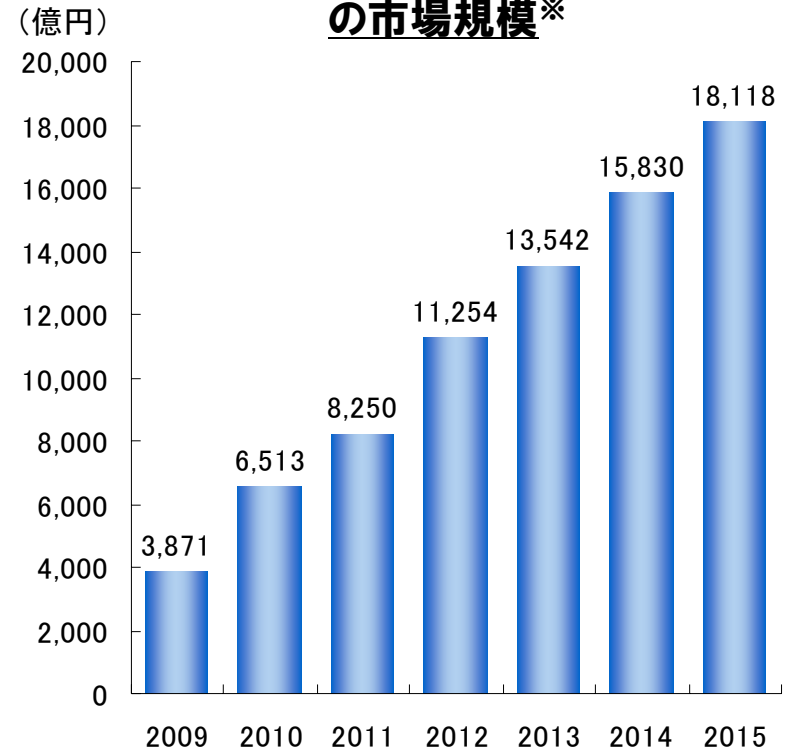
# クラウドコンピューティングの潮流 (2010年2月1日公表 決算説明資料より)

クラウドコンピューティングの市場は2015年1.8兆円超に※

## クラウドコンピューティングとは

➤ コンピュータ処理をネットワーク経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

クラウドコンピューティング  
の市場規模※



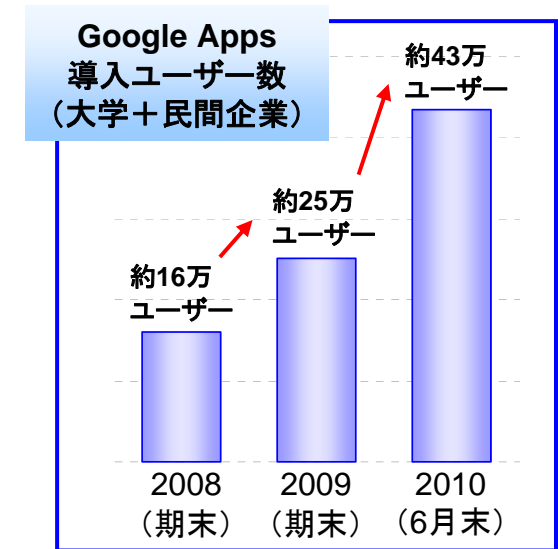
※2010年2月 総務省「スマート・クラウド研究会」公開資料より出典

## クラウド

- 「SIOS Integration for Google Apps」を始めとするサービスの  
内容拡充及び体制充実による収益拡大

⇒ GoogleApps導入は、6月末時点で43万ユーザー  
を突破。(大学/民間企業の合算ユーザー数)

⇒ 「SIOS Integration for Google Apps」は、当初の  
想定に届かない見込み。クラウド分野での技術人  
員の確保、マーケティングの強化を予定。



- クラウド中心の事業構造へ転換

- グループ間の技術シナジーをより一層強化

⇒ 本年3月、ドイツで開催された世界最大級の情報・通信技術の展示会  
「CeBIT」にて、「CloudStation(仮称)」\*の機能の一部を公開。当第4四半期  
でのβ版(試用版)リリースを予定。

## OSS

- ▶ 「LifeKeeper」「Red Hat Enterprise Linux」を始めとした「OSSワンストップソリューション」\*の提供を拡大  
⇒ 既存の注力製品・サービスの拡販により、ほぼ想定通りの上期着地。下期は、当初予想に対して遅れが生じる見込みだが、導入事例は着実に増加。
- ▶ 中国市場開拓の本格化による「LifeKeeper」事業のグローバル展開を加速  
⇒ 当初の売上計画に対して遅れが生じているが、中国デジタル・チャイナ・インフォメーションシステム社とのパートナー契約締結や、社内体制の整備を実施し、来期以降の挽回を見込む。
- ▶ グループ会社間シナジーをより一層高め、より効率的な製品開発と品質保証に転換  
⇒ SteelEye社製品の品質保証業務の国内での推進や人材交流を実施。



# 2010年12月期 通期業績予想の修正について

売上高 当初予想比△300百万円

営業利益 当初予想比△350百万円

▶ 売上修正に伴う利益減少 △170百万円  
 ▶ 追加コストの支出による減少 △180百万円

	連結				(10.2.1 公表)		
	09年12月期 実績	10年12月期 修正予想	増減額	増減率	当初予想	差異	
売上高	5,480	5,000	△481	△8.8%	5,300	△5.7%	<b>オープンシステム基盤事業</b> ● 「OSSワンストップソリューション」の提供が想定より減少 ● 中国での事業展開の立ち上がり遅れ
オープンシステム基盤事業	4,718	4,020	△698	△14.8%	4,200	△4.3%	
Webアプリケーション事業	762	980	+217	+28.5%	1,100	△10.9%	<b>Webアプリケーション事業</b> ● 「SIOS Integration for Google Apps」等が想定より減少
売上総利益	2,251	2,250	△1	△0.1%	2,510	△10.4%	
販管費	2,241	2,590	+349	+15.6%	2,500	+3.6%	<b>販売管理費</b> ● コスト構造の見直し継続 ● クラウド分野の技術人員確保 ● マーケティングコスト増加
(内のれん償却)	266	260	△6	△2.4%	260	+0.0%	
営業利益	10	△340	△350	-	10	-	
経常利益	9	△340	△350	-	10	-	
当期純利益	△33	△360	△327	-	△75	-	
EBITDA	356	0	△356	-	360	-	

## ご参考

サイオステクノロジーについて  
当社グループの事業領域

## Software for Innovative Open Solutions

サイオステクノロジーは、1997年の創業以来、Linuxに代表される**オープンソースソフトウェア(OSS)**の開発と利用を軸に、**OS(基本ソフトウェア)**から**Webアプリケーションソフトウェア**にかかわる事業を推進し、情報システムのコスト削減に関する取り組みを推進しています。また、市場が拡充しつつある**クラウドコンピューティング**分野でも、**OSS**の利活用を通じて、最先端のシステムを提供しています。

これからも**革新的なソフトウェア技術**を追求し、**世界のIT産業に影響力のある存在、「インフルエンサー」と**なって価値を創造し、**社会の発展に貢献してまいります。**



(2010年6月30日現在)

本社: 東京都港区虎ノ門4-1-28

資本金: 1,481百万円

設立: 1997年5月23日

社員数\*: 連結223名、個別158名

連結子会社: SteelEye(米)、グルージェント(日)、賽欧思(北京)科技(中)

※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

# 当社グループの事業領域

## オープンシステム基盤事業

システム運用管理ソフトウェア  
「LifeKeeper」「DataKeeper」\*  
「Data Replication」\*

Linuxソリューション  
Linuxディストリビューション関連

ミドルウェア  
「JBoss Enterprise Middleware」\*  
「Postgres Plus」\*

オープンソースソフトウェア(OSS)サポート

エンジニア向けトレーニング

OSSワンストップソリューション

## Webアプリケーション事業

クラウドインテグレーション  
「SIOS Integration for Google Apps」  
「Google App Engine\* Solution」  
「Private Cloud Integration」

Webアプリケーションソフトウェア  
プロジェクト管理「ProjectKeeper」\*  
営業支援「Sales Force Automation+」\*  
文書管理「Quickスキャン」\*

頁	用語	説明
P2	LifeKeeper	SteelEye社の開発による、本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA(ハイアベイラビリティ)クラスターソフトウェア。
P2	SIOS Integration for Google Apps	Googleが提供する、メール、インスタントメッセージ、スケジュール管理、ワープロ・表計算等をパッケージにしたホスティング型アプリケーションサービスGoogle Appsとお客様の既存の情報システムを直接連携させるサービス。
P2	Red Hat Enterprise Linux	世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。
P2	クラウドコンピューティング	コンピュータ処理をネットワーク(通常はインターネット)経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。
P12	オープンソースソフトウェア(OSS)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
P12	ソーシャルメディア	インターネットやWebに基づく技術を用いてユーザーが情報発信し、形成していくメディアのこと。
P14	CloudStation(仮称)	アプリケーションやデータの統合的な管理・保護を可能にする、現在開発中の新サービス。本年3月、ドイツで開催された世界最大級の情報・通信技術の展示会「CeBIT」にて米国子会社SteelEye社の持つデータ複製技術を利用した機能の一部を公開しました。
P15	OSSワンストップソリューション	オープンソースソフトウェア(OSS)を活用した企業システムの構築におけるコンサルティングから開発、構築、保守サポートまでをワンストップで提供し、経営コストの削減を総合的に支援するサービス。
P19	DataKeeper	SteelEye社の製品。データの複製を別の場所にリアルタイムに保存することを実現するソフトウェア。
P19	Data Replication	データの複製を別の場所にリアルタイムに保存して、データの保全と障害時の早期復旧を支援するソフトウェア。
P19	JBoss Enterprise Middleware	世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が提供するエンタープライズ向けに最適化されたオープンソースの統合ミドルウェア製品。
P19	Postgres Plus	高機能なオープンソースのデータベースである PostgreSQL をベースに米国のEnterpriseDB社が開発した企業ユーザー向けデータベース製品。
P19	Google App Engine	Googleが提供するWebアプリケーションプラットフォームで、Googleアプリケーションを実行しているのと同じ拡張性の高いシステムでWebアプリケーションを構築できる。
P19	ProjectKeeper	高機能版のプロジェクト管理ソフトウェアで、プロジェクトの工程、スケジュール、要員、進捗管理など基本機能の他、プロジェクトの原価予実分析やEVM(出来高管理)分析機能も提供。
P19	Sales Force Automation+	容易な操作性、BI(ビジネスインテリジェンス)機能を備えた柔軟な分析機能を、安価で提供する営業支援ツール。
P19	Quickスキャン	複数の機能(プリンタ、スキャナー、コピー機、FAX等)を搭載した複合的な周辺機器のスキャン機能を利用し、様々な紙ドキュメントを電子化し、指定フォルダへ保存することができる文書管理ソフト。

## ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

## 本件に関するお問い合わせ

サイオステクノロジー（IR担当）

03-6860-5105(代表)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください → [https://www.sios.com/ir/form-IR\\_ssl.html](https://www.sios.com/ir/form-IR_ssl.html)



SIOS